

2021松山・白石の鼻巨石群シンポジウム

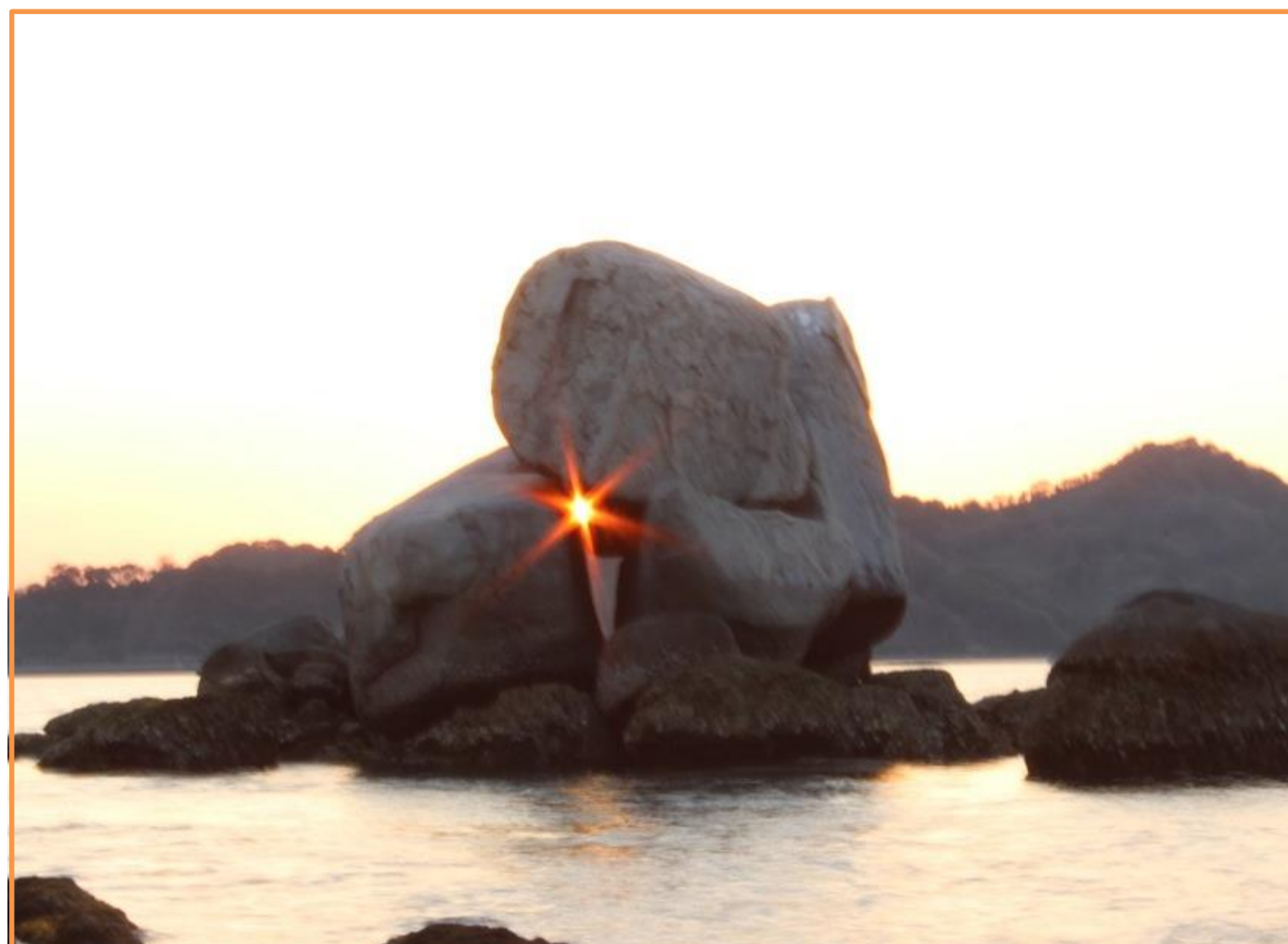
「天文考古学的遺産を活用した地域活性化への取り組み！」

～白石の鼻活動第2ステージ: 調査研究から地域活性化へ～

第一部 シンポジウム



各地の岩石遺構



白石の鼻巨石群の三ツ石

基調講演

平津豊

「古墳以前にも岩石による人工建造物があった！」
イワクラハンター(イワクラ研究家)、日本天文考古学会常務理事

磐座(いわくら)の定義を通じて、各地の岩石遺構を紹介します。また、白石の鼻巨石群について、人が造った石組みであると認められていないのは、一般的に古墳時代以前には、巨石を運搬したり加工したりする技術が無かったとされているからです。果たしてそうでしょうか。古代の天文観測装置である岐阜県の金山遺跡、星に見立てた岩石を山全体に配置して地上に天球図を描いている奈良県神野山など、古墳時代以前にも人々が造った人工的な石組みが存在していることを説明します。

期日: 9月18日(土) 13:30 (13:00開場) ~ 15:50
会場: 松山市三津浜支所大会議室(50人)
(愛媛県松山市三津3丁目2-30)
入場料: 1,000円/1人 高校生以下100円/1人
(定員になり次第、締め切ります。)

第二部 夕日の観賞会・共催イベント

●夕日の観賞会 17:10~18:00 (無料)

会場: 高浜6丁目 白石の鼻海岸

①三ツ石に沈む秋分前の夕日を観賞！
※第二部は雨天の場合は中止する場合があります。
※白石の鼻海岸への移動・交通手段は自己解決でお願いします。
※現地にはトイレがありませんので、先に済ませておいてください。



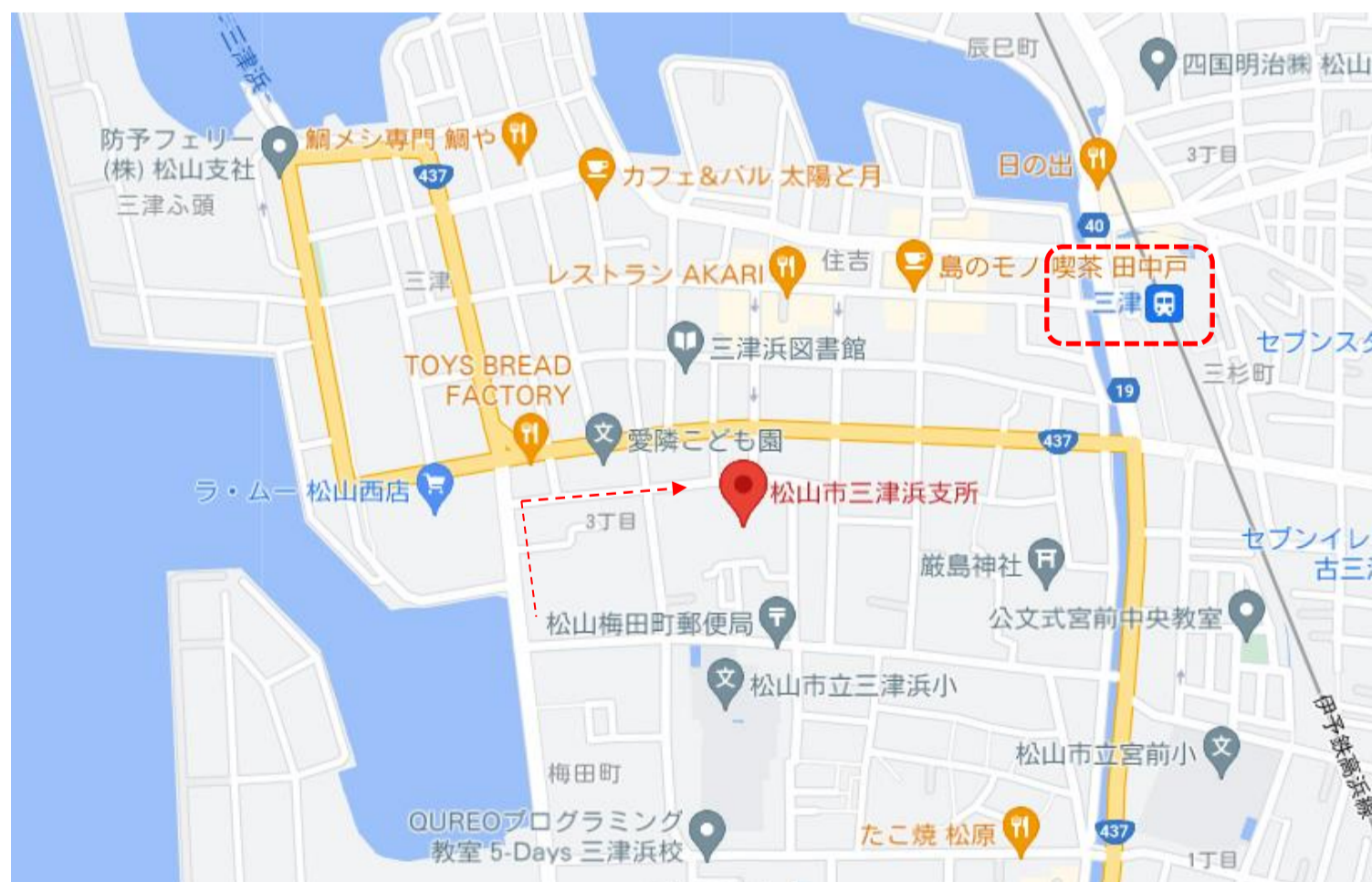
研究発表

篠澤邦彦

「世界の天文考古学遺跡と白石の鼻巨石群～その活用方法」
松山・白石の鼻巨石群振興会事務局長

2008年9月「白石の鼻巨石群古代天文台説」を発表して以来、13年間の調査研究活動でマスコミ、地域社会、学界等に波紋を投げかけた振興会を地域活性化を主目的とした第二ステージへ活動を進化させます。

白石の鼻巨石群と世界の天文考古学的遺跡を比較しながらその特徴とを説明して、この地域遺産をどうやって活用し、次世代へ伝えていくか提案していきます。



●交通アクセス

○鉄道

・伊予鉄高浜線 三津駅下車、徒歩10分
(伊予鉄松山市駅～三津駅まで14分)

○車

・松山ICから高浜観光港方面へ行き県道19号線沿い(約45分)

●問い合わせ先

TEL: 050-3580-3696 (18:30~21:00)事務局

Eメール: shiraishinohana.labo@gmail.com

ホームページ: <http://haku1414.com/>

主催: 松山・白石の鼻巨石群振興会

後援: えひめ地域政策研究センター、日本天文考古学会
イワクラ学会

白石の鼻フェスティバル 9月18日(日)

13:00 第一部 受付開始
(高浜公民館大会議室)

13:30 開会挨拶

13:35 来賓挨拶

13:40 【基調講演】(60分)

平津豊(50分)+質疑10分

「古墳以前にも岩石による人工建造物があった!」

休憩10分

14:50【研究発表】(60分)

篠澤邦彦(20分)+質疑10分

「白石の鼻巨石群・最新活動報告」

15:50 第一部閉会

16:00～移動

白石の鼻海岸へ移動

※各自移動は自己解決でお願いします。
※現地にはトイレがありませんので、支所あるいは松山観光港で済ませておいてください。

17:10 第二部 開始

夕日の観賞会(白石の鼻海岸)

①現地説明及び夕日の観賞

18:00 解散

・平津豊



イワクラハンター(イワクラ研究家)、日本天文考古学会常務理事、イワクラ学会理事

1960年8月生まれ、兵庫県高砂市出身。兵庫県立姫路工業大学工学部卒。化学会社で無機化学物質(セラミック)の研究開発に従事し、特許数約30件。

1987年にホームページ「ミステリースポット」を開設、各地の巨石や磐座(イワクラ)を探索し、その研究結果をホームページに発表している。「ミステリースポット」の詳細な調査と学術的な視点は好評で、年間5万人が訪れる人気サイトになっている。

著書:「イワクラ学初級編」ともはつよし社(2016)、「イワクラ学中級編」ともはつよし社(2021)、「淡路島に残るイスラエルの足跡」(復刻版「淡路の神秘エル・エロヘ・イスラエル」に収録)八幡書店(2016)

・篠澤邦彦

松山・白石の鼻巨石群振興会事務局長

H20.1月に偶然、通りかかった瞬間に「白石の鼻」の巨石がオーパーツであると直感。その後、集中的に調査・研究し、二至二分の夕日のラインと巨石群が整列することを実証。

H20.9月イワクラサミット(神戸)、H25.10月イワクラサミット(近江八幡)にて研究レポートを報告。現在、「白石の鼻」巨石文化の可能性について調査研究・情報発信・普及に努めている。郷土史研究家、日本天文考古学会理事、イワクラ学会理事、システムエンジニア、著書に「伊予のストーンヘンジ」がある。



●問い合わせ先 松山・白石の鼻巨石群振興会事務局

TEL: 050-3580-3696 (18:30～21:00)

Eメール: shiraishinohana.labo@gmail.com

ホームページ: <http://haku1414.com/>